

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場取引所 東 大

上場会社名 三洋化成工業株式会社

コード番号 4471 URL <http://www.sanyo-chemical.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 家永 昌明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 本庄 政昭

四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

TEL 075-541-6153

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	34,492	—	975	—	1,127	—	577	—
20年3月期第1四半期	31,667	9.3	1,477	△3.2	1,987	5.7	1,031	16.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	5.24	4.85
20年3月期第1四半期	9.35	8.65

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年3月期第1四半期	147,181		86,414		57.2		762.41	
20年3月期	148,717		87,555		57.2		770.38	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 84,132百万円 20年3月期 85,016百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期 (予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	68,000	—	2,100	—	2,700	—	1,500	—	13.59
通期	146,000	8.0	6,000	13.3	7,000	19.9	4,100	183.5	37.15

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 — 社 (社名) 除外 — 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ [定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更 (四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更) に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ [定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 117,673,760株 20年3月期 117,673,760株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 7,323,516株 20年3月期 7,318,348株

③ 期中平均株式数 (四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 110,353,675株 20年3月期第1四半期 110,371,165株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年4月30日発表の通期業績予想を修正していません。上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照下さい。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号) 及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号) を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発した米国景気の後退や、歯止めのかからない原燃料価格の高騰等により景気の減速傾向が一層強まり、先行きの不透明感を増しました。

さらに、化学業界におきましては、石化主原料のナフサが再び急騰するなど経営環境は一段と厳しい状況となっています。

当第1四半期の連結売上高は344億9千2百万円(前年同期比8.9%増)と引き続き好調に推移しましたが、利益面では、原燃料価格の高騰を増収効果ならびに製品価格の改定やコストダウンでカバーし切れず、営業利益は9億7千5百万円(前年同期比34.0%減)、経常利益は11億2千7百万円(前年同期比43.3%減)となりました。

純利益は、投資有価証券評価損(1億8百万円)を計上したこともあり、5億7千7百万円(前年同期比44.0%減)にとどまりました。

売上高の主な分野別状況は次のとおりであります。

＜界面活性剤＞

産業用界面活性剤は、生分解性に優れた洗剤原料が顧客での評価が高く、売り上げを大きく伸ばし、またポリエチレングリコールも好調に推移したことに加え、製品価格の改定を実施したことなどにより、売上高が増加しました。

繊維用界面活性剤は、炭素繊維や自動車用エアバッグ、シートベルト用の産業資材用繊維薬剤が需要増に伴い売上高が増加しましたが、衣料用繊維薬剤は日本の市場が縮小を続けているため、低調な売上高となりました。

以上の結果、当分野全体の売上高は60億7千9百万円(前年同期比8.2%増)となりました。

＜ウレタン関連製品＞

ポリウレタンフォーム原料は、新規高機能ポリウレタンフォーム原料の上市等好材料があり、また製品価格の改定を実施したことなどにより、売り上げを伸ばしました。

ウレタン樹脂は、自動車内装表皮材用ウレタンビーズが引続き国内・海外ともに大きく伸びたほか、自動車水系塗料用ウレタン樹脂の需要が国内外共に好調に推移したこともあり、売上高が大幅に増加しました。

以上の結果、当分野全体の売上高は87億7千万円(前年同期比9.2%増)となりました。

＜親油系高分子薬剤＞

情報機器関連製品は、粉砕トナー用バインダーが前年並みの売上高にとどまり、また重合トナー中間体用ポリエステルビーズが製品の交代期による売上高減少もあり、低調な売上高となりました。

潤滑油・機械関連製品は、自動車無段変速機用潤滑油添加剤の需要が好調に推移したことに加え、製品価格の改定もあり、大幅に売り上げを伸ばしました。

コーティング・接着関連製品は、医療機器用接着剤やガラス繊維用接着剤などの需要が好調に推移したことにより、売り上げを伸ばしました。

以上の結果、当分野全体の売上高は72億5千9百万円(前年同期比7.5%増)となりました。

＜親水系高分子薬剤＞

高吸水性樹脂は、紙おむつなどの衛生材料用の需要が国内・海外ともに堅調に推移し、売り上げを伸ばしました。

水処理関連製品は、製品価格の改定や、カチオン系高分子凝集剤の拡販により好調に推移しました。

以上の結果、当分野全体の売上高は77億2千万円(前年同期比7.8%増)となりました。

＜特殊化学品＞

高分子改質剤関連製品は、電子部品搬送トレーなどに使用される永久帯電防止剤が前年並みの売上高でしたが、自動車塗料用樹脂改質剤の海外向けが好調に推移したことにより、順調に売り上げを伸ばしました。

電気・電子関連製品は、シリコンウエハ製造用薬剤が国内・海外の旺盛な需要に支えられ急速に売り上げを伸ばしていることや、アルミ電解コンデンサ用電解液がデジタル家電製品向けに需要が増えたことにより、好調な売上高となりました。

その他の製品では、鉄筋継手用エポキシ樹脂が売り上げを伸ばしました。

以上の結果、当分野全体の売上高は41億9千8百万円(前年同期比15.4%増)となりました。

(注)当四半期と前年同四半期では適用される会計基準が異なっておりますが、参考情報として”前年同期比伸び率”を記載しております。(3ページ 4. その他(3)参照)

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は前連結会計年度末に比べて15億3千6百万円減少し、1,471億8千1百万円となりました。

また、自己資本比率は前連結会計年度末と同水準の57.2%となりました。

当第1四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末残高と比較し27億9百万円減少し、当第1四半期末残高は87億7千3百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、2千6百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益9億8千6百万円、減価償却費18億9千2百万円等により資金が増加する一方、売上高の拡大等によるたな卸資産の増加12億9千9百万円、法人税等の支払い5億9千9百万円等により資金が減少したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、19億7千3百万円となりました。これは、固定資産の取得に15億7千万円を支出したことなどによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、8億3千3百万円となりました。これは、配当金の支払い7億9千3百万円などによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年4月30日に公表した連結業績予想（第2四半期連結累計期間）に対する当第1四半期業績の進捗率は、売上高51%、営業利益46%、経常利益42%、当期純利益39%であります。

第1四半期で投資有価証券評価損を計上したことにより、当期純利益の達成率が低くなっておりますが、第2四半期連結累計期間ならびに通期業績に対しては、その影響は少なくなると予想されるため、業績予想の変更は行っておりません。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,773	11,482
受取手形及び売掛金	39,294	38,932
有価証券	100	100
商品及び製品	11,078	10,353
半製品	4,148	3,808
原材料	3,740	3,439
仕掛品	224	538
繰延税金資産	1,142	1,152
その他	2,086	1,231
貸倒引当金	△30	△29
流動資産合計	70,558	71,008
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,730	14,037
機械装置及び運搬具（純額）	22,840	24,121
土地	7,700	7,808
建設仮勘定	4,799	3,621
その他（純額）	1,847	2,000
有形固定資産合計	50,918	51,589
無形固定資産		
ソフトウェア	455	484
のれん	495	548
その他	177	191
無形固定資産合計	1,129	1,224
投資その他の資産		
投資有価証券	22,910	22,632
長期貸付金	11	17
繰延税金資産	600	1,035
その他	1,110	1,266
貸倒引当金	△57	△57
投資その他の資産	24,575	24,894
固定資産合計	76,623	77,709
資産合計	147,181	148,717

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,740	26,986
短期借入金	2,024	1,867
1年内返済予定の長期借入金	1,084	980
未払法人税等	533	587
賞与引当金	722	1,703
役員賞与引当金	19	60
設備関係支払手形	2,744	2,310
その他	6,458	5,219
流動負債合計	40,328	39,715
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	3,695	4,275
繰延税金負債	—	108
退職給付引当金	5,007	5,113
役員退職慰労引当金	827	1,123
その他	907	824
固定負債合計	20,438	21,446
負債合計	60,766	61,161
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,051	13,051
資本剰余金	12,198	12,198
利益剰余金	61,492	61,742
自己株式	△5,673	△5,670
株主資本合計	81,068	81,321
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,972	3,340
為替換算調整勘定	△908	353
評価・換算差額等合計	3,063	3,694
少数株主持分	2,282	2,539
純資産合計	86,414	87,555
負債純資産合計	147,181	148,717

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	34,492
売上原価	28,794
売上総利益	5,698
販売費及び一般管理費	4,722
営業利益	975
営業外収益	
受取利息	22
受取配当金	164
持分法による投資利益	24
不動産賃貸料	89
その他	38
営業外収益合計	339
営業外費用	
支払利息	86
為替差損	52
その他	47
営業外費用合計	187
経常利益	1,127
特別損失	
固定資産除却損	28
投資有価証券評価損	108
その他	3
特別損失合計	140
税金等調整前四半期純利益	986
法人税等	419
少数株主利益	△10
四半期純利益	577

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	986
減価償却費	1,892
固定資産除却損	28
のれん償却額	52
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△980
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△106
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△295
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△40
受取利息及び受取配当金	△187
支払利息	86
持分法による投資損益(△は益)	△24
投資有価証券評価損益(△は益)	108
その他の営業外損益(△は益)	△50
売上債権の増減額(△は増加)	△637
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,299
その他の資産の増減額(△は増加)	△621
仕入債務の増減額(△は減少)	168
未払消費税等の増減額(△は減少)	16
その他の負債の増減額(△は減少)	1,168
小計	266
利息及び配当金の受取額	351
利息の支払額	△84
その他の支出	91
法人税等の支払額	△599
営業活動によるキャッシュ・フロー	26
投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△1,570
固定資産の売却による収入	0
投資有価証券の取得による支出	△98
貸付けによる支出	△220
貸付金の回収による収入	6
その他	△90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,973

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,567
短期借入金の返済による支出	△1,261
長期借入金の返済による支出	△252
自己株式の売却による収入	0
自己株式の取得による支出	△3
配当金の支払額	△793
少数株主への配当金の支払額	△90
財務活動によるキャッシュ・フロー	△833
現金及び現金同等物に係る換算差額	△73
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,854
現金及び現金同等物の期首残高	11,482
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	145
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,773

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当社及び連結子会社は、製品の種類・性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種の化学品を専ら製造販売しているため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	米国	中国	その他の地域	計
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	30,515	1,277	2,269	430	34,492
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,165	3	64	—	1,233
計	31,680	1,281	2,334	430	35,726
営業利益	1,116	△130	△35	△25	924

	消去又は全社	連結
売上高		
(1) 外部顧客に対する売上高	—	34,492
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	△1,233	—
計	△1,233	34,492
営業利益	50	975

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

(単位:百万円)

	アジア	(うち中国)	アメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高	6,341	(3,331)	1,963	2,526	10,831
II 連結売上高	—	—	—	—	34,492
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	18.4	(9.7)	5.7	7.3	31.4

(注) 1. 海外売上高は、当社(単体)および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

2. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

3. 各区分に属する主な国または地域

(1) アジア : 韓国、中国、インドネシア、インド、タイ 他

(2) アメリカ : 米国、メキシコ、ブラジル 他

(3) その他の地域: オーストラリア、ヨーロッパ、ロシア、中近東 他

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位: 百万円)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)
	金額
I 売上高	31,667
II 売上原価	25,567
売上総利益	6,100
III 販売費及び一般管理費	4,622
営業利益	1,477
IV 営業外収益	632
1. 受取利息	36
2. 受取配当金	148
3. 持分法による投資利益	138
4. その他	309
V 営業外費用	122
1. 支払利息	66
2. その他	55
経常利益	1,987
VI 特別利益	2
1. 固定資産売却益	2
VII 特別損失	32
1. 固定資産除却損	32
税金等調整前四半期純利益	1,957
税金費用	760
少数株主利益	164
四半期純利益	1,031

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位: 百万円)

	前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)
区分	金額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,957
減価償却費	1,938
のれん償却費	44
受取利息及び受取配当金	△185
支払利息	66
持分法による投資損益(△利益)	△138
売上債権の減少(△増加)額	759
たな卸資産の減少(△増加)額	△23
その他資産の減少(△増加)額	△837
仕入債務の増加(△減少)額	497
その他負債の増加(△減少)額	861
その他	△1,464
小計	3,476
利息及び配当金の受取額	364
利息の支払額	△70
法人税等の支払額	△869
その他	74
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,975
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△2,930
投資有価証券の取得による支出	△1
貸付金の実行による支出	△70
貸付金の回収による収入	3
その他	△50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,048
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,151
短期借入金の返済による支出	△815
長期借入れによる収入	200
自己株式の取得による支出	△6
配当金の支払	△800
その他	△359
財務活動によるキャッシュ・フロー	△630
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	147
V. 現金及び現金同等物の増加(△減少)額	△556
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	15,287
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	14,730

補足情報

四半期ごとの業績推移

1. 連結

前年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (平成19年4月～6月)	第2四半期 (平成19年7月～9月)	第3四半期 (平成19年10月～12月)	第4四半期 (平成20年1月～3月)	累計 平成20年3月期
売上高	31,667	31,443	35,707	36,396	135,214
売上総利益	6,100	5,566	6,267	6,217	24,151
営業利益	1,477	836	1,519	1,460	5,293
経常利益	1,987	900	1,564	1,383	5,836
四半期(当期)純利益	1,031	△262	887	△210	1,446

当年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (平成20年4月～6月)	伸び率(%)	
		前年同期(1Q)比	前四半期(4Q)比
売上高	34,492	8.9	△5.2
売上総利益	5,698	△6.6	△8.4
営業利益	975	△34.0	△33.2
経常利益	1,127	△43.3	△18.5
四半期(当期)純利益	577	△44.0	—

2. 単体

前年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (平成19年4月～6月)	第2四半期 (平成19年7月～9月)	第3四半期 (平成19年10月～12月)	第4四半期 (平成20年1月～3月)	累計 平成20年3月期
売上高	23,202	23,715	26,193	27,266	100,377
売上総利益	4,194	4,029	4,583	4,648	17,455
営業利益	707	477	1,091	1,149	3,425
経常利益	1,570	1,058	1,462	1,210	5,301
四半期(当期)純利益	1,117	△252	1,054	14	1,934

当年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (平成20年4月～6月)	伸び率(%)	
		前年同期(1Q)比	前四半期(4Q)比
売上高	25,747	11.0	△5.6
売上総利益	4,271	1.8	△8.1
営業利益	774	9.5	△32.6
経常利益	1,396	△11.0	15.4
四半期(当期)純利益	899	△19.4	5,957.8